

津波は突然、そして必ずやってくる！

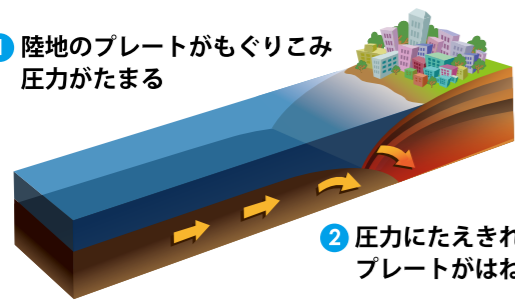


東日本大震災の津波被害／宮城県気仙沼合同庁舎より撮影 平成23年3月11日(撮影:宮城県職員)

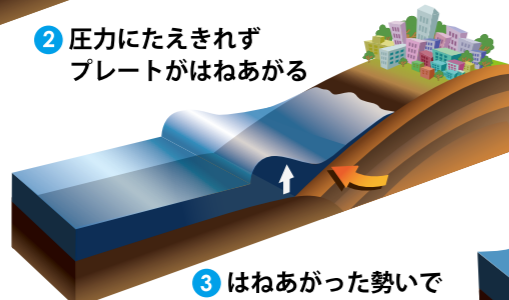
地球は「プレート」におおわれています。今でも大陸が移動しているようにこのプレートも動いています。海底のプレートの沈みこみやもり上がりは、その上の海水を上下させる動きとなって伝わり、これが海岸にまで伝わると巨大な津波となるのです。

津波とは陸へおしよせる巨大な水のかたまり

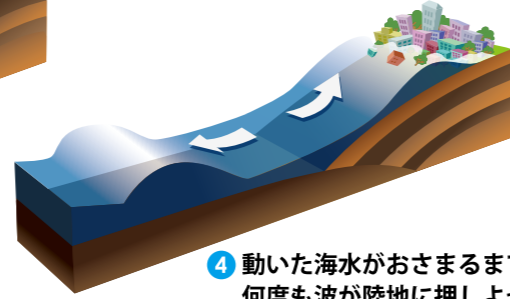
① 陸地のプレートがもぐりこみ
圧力がたまる



② 圧力にたえきれず
プレートがはねあがる



③ はねあがった勢いで
海水が大きく動く



④ 動いた海水がおさまるまで
何度も波が陸地に押しよせる

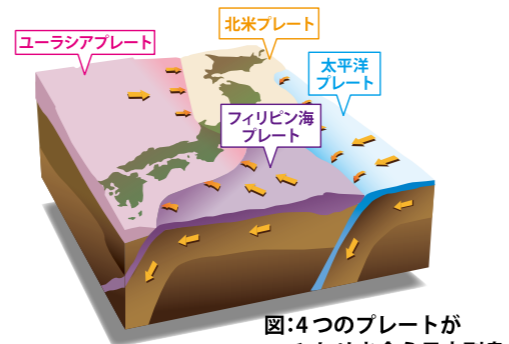
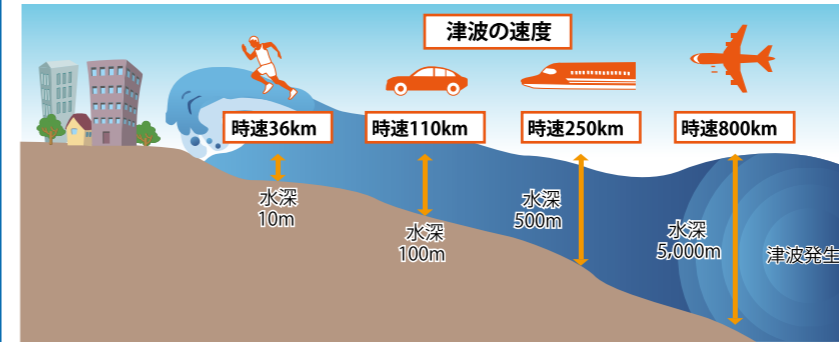


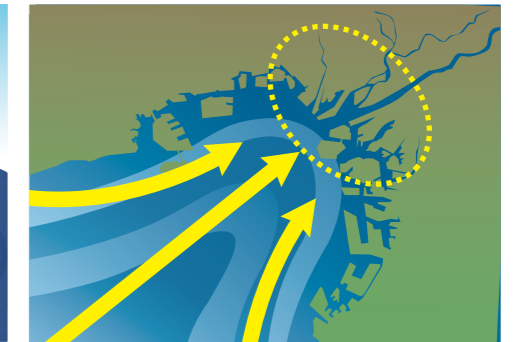
図:4つのプレートが
ひしめき合う日本列島

津波の速さはジェット機なみ!?



海水を上下させる動きは、海の深さが深いほど速く、浅いほどおそく伝わります。ところがスピードがおそくなると、次々に後ろからおしよせる海水は前の海水に追いついてしまい行き場を失います。その結果、前の海水に重なるようにどんどん高くなり上がっていき、やがて海岸にたどり着くときには巨大な津波となっているのです。

尼崎は津波が高くなる地形



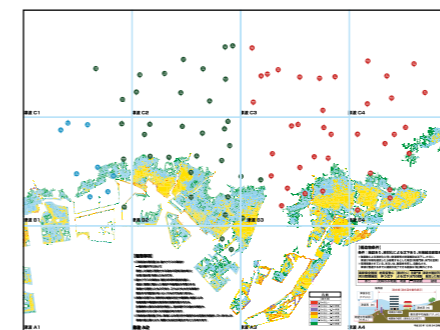
津波の高さは海底の地形と海岸の形によっても大きく変わります。海底が急に浅くなる海岸では、一気に津波は高くなります。また、湾の入り口から奥に向かって幅がせまくなるような海岸では、波が進むにつれて湾の奥にエネルギーが集中し、津波が大きくなります。

浸水マップの使い方

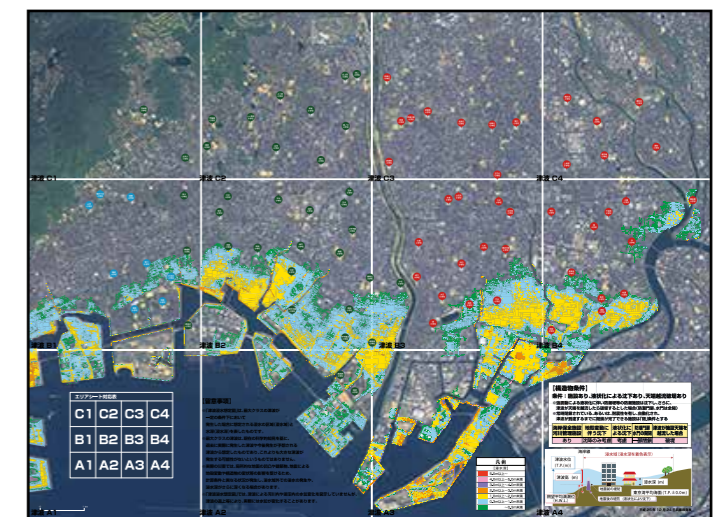
展示室には、床面に阪神地域の航空写真が貼り付けてあります。写真は12のエリアに区切られており、別に各エリアに対応する12枚の災害シミュレーションシートが用意されています。シートには、尼崎・西宮・芦屋の公立小学校の名前と、災害時の被災想定地域が描かれています。災害時に自分の住んでいる地域がどうなるのか、シートを写真に重ねて確かめてみましょう。



阪神地域航空写真



災害シミュレーションシート



全てのエリアの災害シミュレーションシートを阪神地域航空写真に重ねた状態

備えよう！今のうちからできる事

覚えておこう！自分の命の守り方

少しでも危険を感じたら、これらのことを心がけながら自主的に避難するようにしましょう。



家族で話そう！もしもの時の避難場所

家族がバラバラで避難することも考えられます。災害のときの避難場所や集合場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。



家族みんなで避難経路と避難場所を確認しよう！



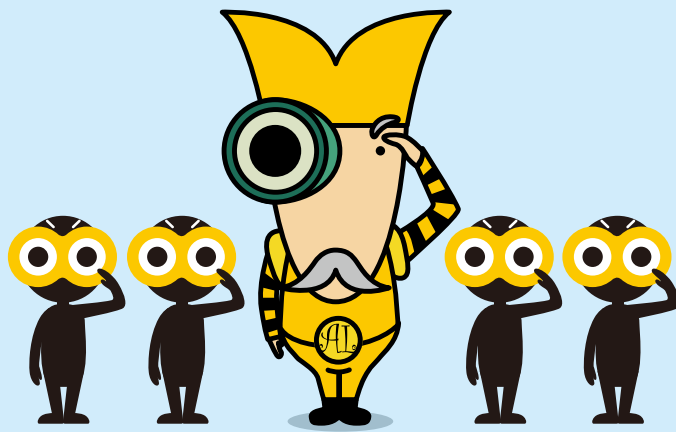
ハザードマップなどで避難場所などを確認しておきましょう (尼崎市発行 洪水ハザードマップから抜粋)

備えよう！最低限の持出し品

持ち出し品は自分が持って逃げる事ができる重さを考えてリュックサックなどにまとめ、いつでも取り出せる場所に用意しておきましょう。



ここでは避難した先で最初の1日間をしのぐための必要最低限のものを紹介しています。実際には家族構成に合わせて必要なもの、数量を用意しておきましょう。



尼ロック

AMAGASAKI LOCK GATE



お問合せ 尼崎港管理事務所 施設課
住 所 〒660-0093 尼崎市西海岸町地先(尼ロック)
電 話 06-6409-1356
アクセス [阪神バス]70系統 「東海岸町」下車 徒歩5分
[自家用車]五合橋線南下 「清掃局第2工場前」
交差点の手前 100mで右側側道へ 駐車場あり

発 行 兵庫県阪神南県民センター 尼崎港管理事務所
〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町7丁目21番地

発行日 平成 30 年 4 月 29神南 © 2-004A4